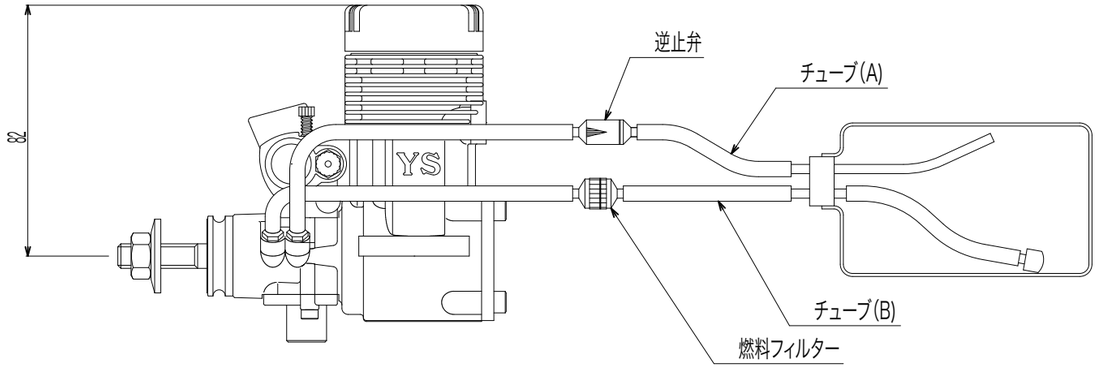


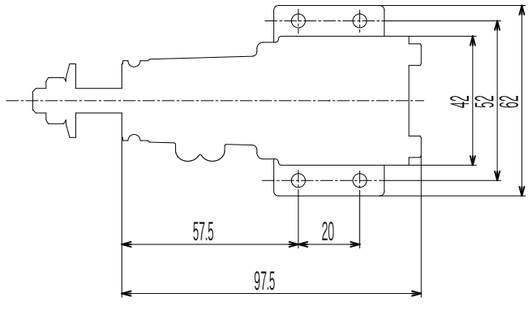


図1

要目

ボア	24mm
ストローク	22mm
行程容積	9.95cc
重量	545g
実用回転数	2,000～18,000rpm

安全運転上の注意点

必ず本説明書を熟読し下記の点を厳守して本エンジンをご使用下さい。又専門用語が数多く使用してあり、意味がよく分からないときは必ず販売店か弊社にお問い合わせください。

1．プロペラの取付けは必ず付属のプロペラナットを使用すること。
2．プロペラは、製造メーカーが強度等を保証するものを使用し、メーカーの使用方法に従うこと。
3．プロペラサイズは飛行中においても実用回転数を超えないものを選択すること。
4．運転中は常に前方及びプロペラ回転外周方向に人のいない事を確認すること。
5．スロー状態で電動スターターを使用し始動すること。
6．始動後はスローのままにてプロペラ後方に移動し、エンジン調整を充分行ってから飛行させること。
7．運転中はエンジン、マフラー等付属するすべてのものが高温となります。運転中はもちろん運転後も冷えるまではそれらに触れないこと。
8．不調の状態にては絶対飛行させないこと。
9．ラジコン模型飛行機以外には使用しないこと。ヘリコプターには使用できません。
11. エンジンを安全に使用する責任は使用者にあります。いつも注意深く使用していただくようお願いします。

搭載

1. タンクへの接続は図１のように行って下さい。逆止弁の矢印の向きに注意してください。
2. タンクには高圧がかかります。口金をよく締め、パイプの差し込みを固くして圧が漏れないように、又チューブが屈曲しないようにしてください。
3. 噴射装置にとってゴミは大敵です。必ず図１のように燃料フィルター（オプション）を使用してください。

燃料

1. 燃料は、合成油脂系をご使用してください。ニトロメタンは 10～30% 位含んだものがよいでしょう。
2. 燃料を注入するには、まずチューブ (A) を逆止弁より外しタンクにかかっている圧力を抜きます。次にチューブ (B) よりタンクへ燃料を注入します。タンクに圧力がかかっているときに、チューブ (B) を先に外すと燃料が噴出しますので注意してください。

グロープラグ

グロープラグは付属していません。当社２サイクル用プラグ YS ＃２ (P0020) をご購入いただき使用して下さい。

プロペラとチューンドパイプについて

このエンジンは、チューンドパイプの仕様を前提に作られていますがパイプとエキゾーストアダプターの中間長さは、プロペラサイズ、燃料の種類等によって変わります。一般にプロペラのダイヤ、ピッチが大きくなる程、適性な中間長さが長くなります。燃料のニトロ分が少なくなっても長くする必要があります。

始動

1. 本エンジンは大型で回転力も強大ですから、始動には必ず電動スターターを使用してください。
2. エンジン購入後、初めて始動するときはメインニードルを２回転ほど開きます。そのまま全開にしますと濃すぎるため止まってしまいますのでニードル調整を行って下さい。
3. スロットルを少し開き、プラグに通電しないでスターターをキャブレター内に燃料が流入するまで回します。状態によって違いますが大体、10 秒程度です。
4. スターターで、回すときは、まずプロペラを手で反対方向へ圧縮力が感じられるまで回しておき、スターターをスピンナーに強く押し付けて一気に回転させます。
5. 燃料がキャブレターまで到達したら、スロットルを全閉の位置から少し開いた状態にしプラグに通電してスターターで始動します。
6. 始動後、しばらくアイドリングより少し高い回転で暖気運転を行います。最初に全開にする際、タンクに十分圧力がかかっていませんので、ゆっくりスロットルを開いて下さい。一度全開になるとタンクに圧力がかかります。
7. スロットルを全開にしたらニードル調整を行います。ニードルを右に回すと薄くなり、左に回すと濃くなります。なるべく濃い状態での使用をお勧めします。
8. 濃い場合はぶつぶついいながら回転が下がって止まってしまいます。薄い場合はエンジンが焼けて回転が下がります。
9. スロットル全開にて始動しないでください。大変危険です。
10. エンジン始動後は、安全のため必ずプロペラの後方でエンジン調整を行ってください。
11. ３～５分以上、アイドリングあるいは中速で運転しますとタンクの圧力が低下します。その際いっきに全速にすると薄くなって止まってしまいます。この場合、最初に始動した時同様ゆっくり全開にして下さい。短時間でも全開にするとタンクの圧力低下を防ぐ事が出来ます。

ブレークイン

1. プロペラは飛行に使用するものか、それより小さいものを使用します。
2. ブレークインの前半は、安定した回転が続くように注意しながらニードルバルブを開けてできる限り濃い混合気にて運転してください。
3. 後半はピークの一歩手前までニードルバルブを絞り込み、また元へもどす調整を繰り返し、次第にピークに近い運転を長くします。
4. ブレークインが終わった後もニードルを絞り過ぎないように注意し常にやや濃いめで運転するようにしてください。
5. ブレークインは 30 分程行います。

高速回転の調整（ニードリバルブ）

1. ニードルバルブで調整します。右に回すと薄くなり左に回すと濃くなります。
2. エンジンが始動しましたら、徐々にスロットルを全開にしニードルバルブで混合気の濃さを調整します。始動直後に全開にするとエンジンが停止するときがあります。エンジンの温度が上がるのを待ってゆっくりスロットルを開いて下さい。
3. 飛行に際してはピーク位置より少し濃い状態で使用するように心がけて下さい。

アイドリング調整（レギュレター）

1. ブレークインが済み、高速でのニードル調整ができましたらスロットルバルブをゆっくり閉めアイドリング状態にします。
2. 安定したアイドリング位置を見つけて、スロットルバルブがそれ以上閉まらないようバルブリミットスクリューを調整します。
   実際には多少、大きめにスロットルバルブが開くよう調整し、少しずつ閉じて安定して回る最低回転数のアイドリング位置に調整するとよいでしょう。
3. 安定したアイドリング回転数は、燃料やプラグあるいは、プロペラ等によって上下しますが、大体、2,000 ～ 2,300r ｐｍが得られます。
4. アイドリングが決まりましたら一気にフルスロットルにしてみます。良好の場合は、問題なく滑らかに最高速まで吹きあがります。5. アイドリング状態で回転が徐々に上がり不安定になるときは薄い場合です。レギュレター調節ネジを左に回すと濃くなります。
5. 回転が下がりブスブスと止まるときは濃い場合です。レギュレター調節ネジを右に回すと薄くなります。

エンジン洗浄

本エンジンは、シリコンゴムが各所に使用されていますので、洗浄にはグロー燃料かメチルアルコールを使用してください。灯油、ガソリン、ミシン油、CRC 等の防錆剤はシリコンゴムが犯されて使用不能となります。

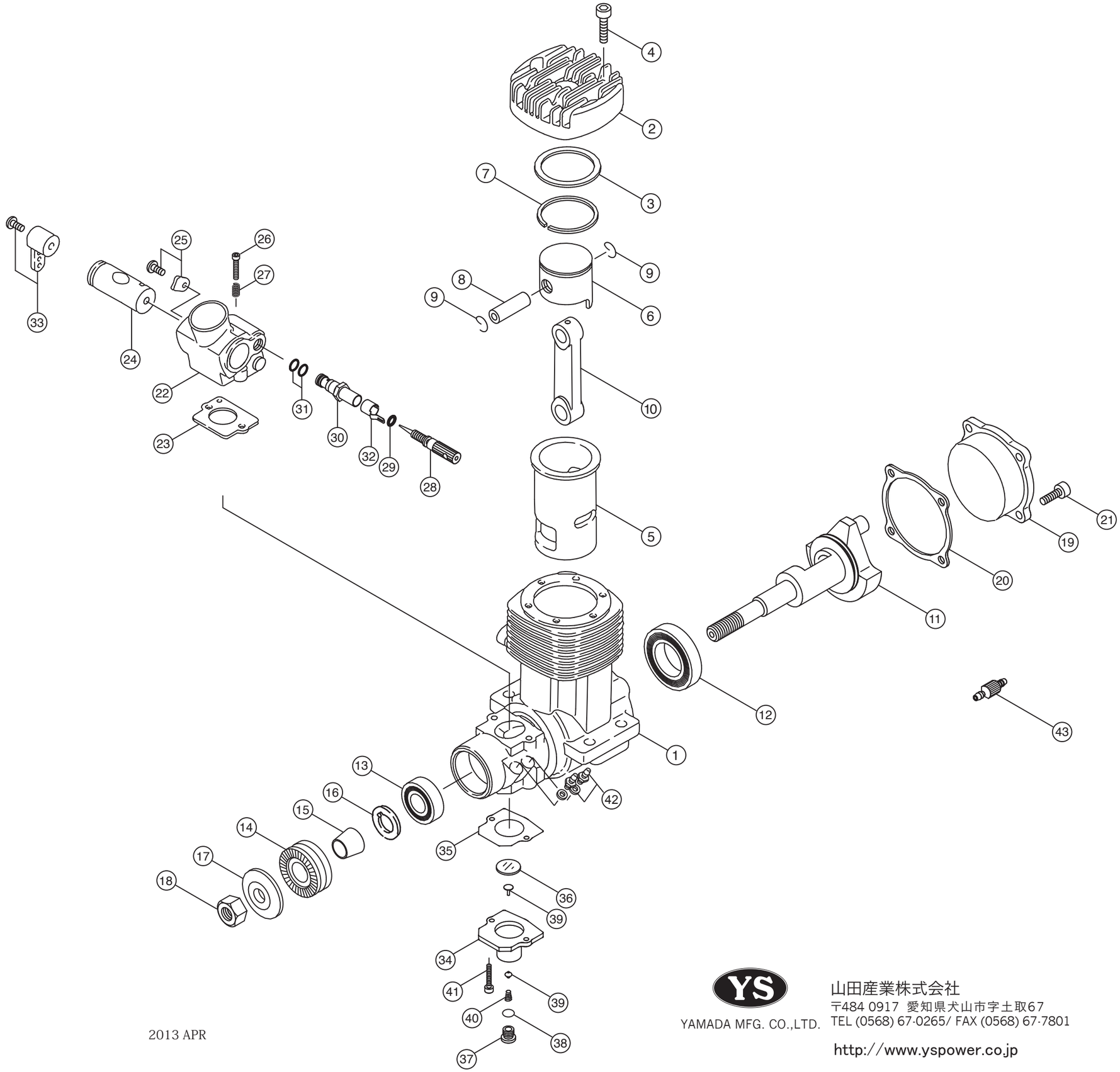
補修部品及び修理

補修部品につきましては、お買い上げの模型店、もしくは弊社に直接注文してください。修理につきましても模型店にお持ちいただくか、もしくは弊社に直送ください。

保 証

弊社では部品製作より組み立て完成に至るまで各工程ごとに厳密な検査と管理を行っていますが正常な取り扱いにもかかわらず、万一故障が起きましたときは、それが製造上の原因と認められた場合に限り、本製品の無償修理をいたします。保証期間はご購入後、１年間です。尚、エンジン以外の保証はお受けできませんのでご承知下さい。保証期間内であっても 正常な摩耗、不適当な分解組立て、不適当な使用、改造等によって起こる故障につきましては有料修理となります。

NO.	品 番	品　　名	セット数
1	R6401	クランクケース	1
2	R6402	シリンダーヘッド	1
3	S7103	ヘッドガスケット	1
4	R6104	ヘッドスクリュー	6
	R6405S	シリンダーライナーセット	
5	R6405	シリンダーライナー	1
6	R6406	ピストン	1
7	S7107	ピストンリング	1
8	R6407	ピストンピン	1
9	S5208	ピストンピンリテーナー	2
10	S7110	コンロッド	1
11	R6410	クランクシャフト	1
12	R6112	リヤーベアリング	1
13	R6211	フロントベアリング	1
14	F9323	ドライブワッシャー	1
15	F9324	テーパーコレット	1
16	R6115	スラストワッシャー	1
17	R6116	プロペラワッシー	1
18	R6217	プロペラナット	1
19	R6118	リヤカバー	1
20	R6119	リヤカバーパッキン	1
21	R6120	リヤカバースクリュー	4
	R6421A	キャブレター組立	
22	R6421	キャブレターボディー	1
23	R6122	キャブレターパッキン	1
24	R6423	スロットルバルブ	1
25	R6124	スロットルバルブリテーナー	1
26	F1258	バルブリミットスクリュー	1
27	R6126	バルブリミットスプリング	1
	F1545S	ニードルセット	
28	F1545	ニードルバルブ	1
29	F1546	ニードルバルブOリング	1
30	F1555	ニードルソケット	1
31	F1556	ニードルソケットOリング	2
32	F1257	ニードルストッパー	1
33	F1260S	スロットルレバーセット	1
	R6133A	レギュレター組立	
34	R6133	レギュレターボディー	1
35	R6134	レギュレターパッキン	1
36	F1247	ダイヤフラム	1
37	F1245	レギュレター調節ネジ	1
38	F1246	レギュレター調節ネジOリング	1
39	R6138	レギュレターバルブ	1
40	F1249	レギュレターバルブスプリング	1
41	R6140	レギュレタースクリュー	2
42	R6141	ニップルセット	2
	R6142S	パッキンセット	3
	R6443S	Oリングセット	4
43	F1272	逆止弁	1



2013 APR

YS
YAMADA MFG. CO.,LTD.
山田産業株式会社
〒484 0917 愛知県犬山市字土取67
TEL (0568) 67-0265/ FAX (0568) 67-7801
http://www.yspower.co.jp